



【やっぱり長野も熱かった！】

今年も「夏い暑」、じゃなくて「暑い夏」でしたね。そんな夏を涼しく過ごそうと第3戦目となったGRAジムカーナグランプリは、8月16日長野県で行われました。しかし長野も暑かった、といっても照りつける太陽の暑さではなくて、会場となったアルピコ自動車学校は全国各地のライダー達の<熱気>に満ちていました。というのも長野県は関東と関西の丁度中間位の所に位置することから、嬉しいことに今回関東方面からの参加者も多く、文字どおり全国各地のライダーがこの日この会場に集結したのです。

ところでこのジムカーナグランプリの最大の特徴である「ポイント制度」のことはもうご存じですか？シリーズ6戦通じてクラス入賞や総合入賞は勿論、実力の目安としてGRAで算出している「タイム指数」をもとにして指数アップ、クラスアップなどの実力アップに対してもそれぞれ「ポイント」が与えられ、「参加することに意義がある」ということで惜しくも入賞と実力アップを逃しても、参加してコースを一回でも完走すると「完走ポイント」が与えられる、という制度です。そしてそのポイントはシリーズ最終戦において、個々の成績の良かった4戦を対象にして合計され、総合又はクラス別（最終所属クラス）で高ポイントを獲得した選手上位何名かが表彰されます。

第2戦までのポイントランキングトップは、今やGRAのアイドル的存在となった若干18歳（になった？）、神戸在住の白石 健君でした。そして第3戦でのポイント集計結果、総合ではまたもや白石君がトップでした。今回はスズキGS400Eに乗り換えての健闘で第2ヒートゴール直前で大転倒をしつつもタイム指数アップでポイントを稼ぎました。2番目は石川県から参加のTZR250に乗る荒井 久貴さん。彼は大幅なタイム指数アップと同時にクラスアップ、そしてCクラス1位という成績で今回第3戦参加者中最高ポイントを獲得し、参戦2戦目で見事ポイントランキング上位入賞を果たしました。

なんだかアメリカンドリームというか一発逆転というか(?)このポイント制度にはこんな面白味があるんだなあって思いました。がんばった結果がうまく本番で発揮出来れば、その結果が目に見えるって感じ。でもその得点が少なくてもがっかりしないで。大切なのは得点の多さじゃなくてそれをどうやって獲得できたか、だと思えます。実力発揮出来てタイム指数が少しだけ上がったからだとか、惜しくも実力発揮は出来なかったけど遠いところからがんばって参加してちゃんとコースを完走できたからだとか、どんな得点でも一人一人自分なりの意味があるはずですよ。その得点が少ないことを悔しく思うのなら、次回がんばって参加していい結果が残せるように努力すればいいし、少ない得点でもその意味が自分で満足出来れば喜ばばいいし、自分がどれだけがんばれたかの証拠、それがこの「ポイント」でも知ってもらえれば幸いです。

このポイント制度は先程も述べたように95年シリーズ6戦のうち成績の良かった4戦を対象に算出されるので、全戦参加出来なくてもまた第3戦までは成績がふるわなかった人にもまだまだ上位入賞のチャンスはあります！次回第4戦は9月23日広島にて開催されますので、ぜひ参加してみてください。また全国各地の人達と一緒に楽しいひとときを過ごせることを楽しみにしています！

GRAジムカーナグランプリ第3戦 8月16日 長野 涼のちのち

爽やか信州での第3戦、でもやっぱり雨は降るのよね

こんにちは、LB読者の皆さん。私たちGRAは、今夏最大のイベントGRAジムカーナグランプリ第3戦を、8月16日、長野県塩尻市アルピコ自動車学校にて開催しました。

このところ雨続きのGRAに珍しく、初秋を感じさせる爽やかな信州の朝はとってもいい天気。大会会場には、一週間近く前から練習合宿組、前日キャンプで大騒ぎ組と泥酔宴会二日酔い組、当日はるばる自走組（自走遠来レディスは、徳島の中山選手、福井の原田選手、大阪の伊藤選手と籠谷選手です）それから会場ゲート前露天宿泊の哀れな18歳などなど、関東、東海、北陸、信越、中国、四国、関西から集合して来た87名（うち女性13名）の選手たちが、早速受付時に配られたコース図を手に会場内を歩き回っています。今日のコースは、いつもなら遅いクラスでも2分くらいで帰ってくるのに、速いクラスでさえ2分以上、遅いクラスなら4分近くかかる、とってもロングなコースなのです。駐輪場の方には、自走組やワゴン車やトラックから下ろされたバイクたちが戦闘準備を整えて出番を待っています。ライダーズミーティング終了後、すぐ第1ヒートが開始され、Aクラスからゼッケン順にウォームアップエリアに入りました。A（初参加）クラス35名中過半数が東京、埼玉、神奈川、栃木、群馬からの関東勢で、彼らのウォーミングアップを見る限り、タダモノジャナイという雰囲気。それもそのはず、彼らは関東方面の猛者たちだったのだ。そしてAクラスの第1ヒートはEクラスと違うの？というタイムでゴールしてくる選手が続出、レベルの高い大会となりました。

昼食後、何だか雲行きが怪しくなってきた第2ヒートは、今回第3戦では、第1ヒートのタイムの遅い順に出走することになっていて、発表された出走順番表で後ろの方に回った選手たちの出番は、周囲に緊張感が走り、一瞬シーンと静まり返るシーンさえあり、アグレッシブなライディングでゴールするたび、ギャラリーから拍手歓声が送られていました。最後の最後にパラパラッと雨に降られ、やっぱりGRAは雨ねえと納得してタイムアタックは終わり、表彰式はクラスごとの上位に賞品の授与があり、ジャンケン大会で盛り上がり、GRAジムカーナグランプリ第3戦、真夏の長野GPは無事終了しました。

帰り道、関東方面は高速道路が事故による通行止めのため、大渋滞で散々な目に合ったらしいのですが、関西方面は駒ヶ岳の辺りで大雨に見舞われましたが、美しい木曾の山々を満喫、お盆明けとは思えないスムーズな交通量で帰宅出来たのはラッキーでした。

私達GRAは、第1戦の京都、第2戦が香川、そして今日第3戦の長野を開催し、全国と同じ志の仲間との交流を深め、新しい地区に新しい仲間を作り、ジムカーナの楽しみを広め、社会からも認めてもらえるように活動を続けています。努力が報われ、タイムによって自分の実力発揮度が評価されるジムカーナを貴女も体験してみませんか？次回第4戦は広島で9月23日に開催します。どうぞGRA事務局までお問い合わせ下さい。それではLB読者の皆さん、広島でお会いしましょうね！！

657 神戸市灘区楠丘町6-9-9-201 GRA事務局 小林 裕之

☎078-843-8437

☎078-843-8444